

# 1. 評価報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	2472200308
法人名	医療法人 福島会
事業所名	グループホーム あさひ
所在地 (電話番号)	三重郡朝日町大字小向2064-1 (電話) 059-376-3300
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 8 月 28 日(木)

## 【情報提供票より】 (H20年8月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 5人, 非常勤 9人, 常勤換算 9.83人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造鋼板葺平屋建 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,250 円	その他の経費(月額)	23,000 円~
敷 金	有( ) 50,000 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 8 月 7 日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	9 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	4 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	83.6 歳	最低 72 歳	最高 91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	桑名病院 うち歯科医院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

庭が広く門から玄関まで距離があり、ゆったりとして開放感がある。建物も広々とした空間構成で伸びやかな落ち着いた雰囲気がある。歯科医が母体であり、口腔衛生に関しては、とても力を入れている。平成20年から隣接地に介護付き有料老人ホームが開設され、グループホームとの間で職員同士の連携や利用者同士の交流行事などを通じて、親睦が図られてもいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回指摘された項目全般にわたり、前管理者の産休による交代と隣接地に有料老人ホーム建築中によるゴタゴタ等で取り組みが遅れているが、家族の意見蒐集などについては改善をしている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	自己評価は職員の意見をユニットのリーダーが吸い上げてまとめており、よく理解もしている。ケア会議で一人ひとりについて深く話し合っており、評価を実践に役立てるような取り組みも模索している。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 介護相談員の訪問日に合わせて毎月1回利用者や家族も同席して話し合われている。メンバーのうち一人がお寺の住職であり社協の理事でもあることから、行政との橋渡し役として、また、地域のまとめ役として、種々の問題解決に向けた助言をもらうなど、運営推進会議を活かした取り組みをしている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱に家族からの意見が入らないので、家族の意見を吸い上げる方法として試みにアンケートを実施している。それにより運動会の協議内容に変更を加えるなど、出来るところから改善に取り組み運営にも反映している。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 年数を経て少しずつ地域の中で「グループホームとはなんぞや?」の理解が浸透してきているが、まだ不十分である。自治会や老人会への加入、災害時の地域からの協力体制の確立など、地域との連携についてはまだ課題が多い。

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	この事業所の理念である「ゆっくり楽しく家族のように豊かな生活をおくりたい」との言葉が、毛筆による素晴らしい筆運びで玄関や事務所など目に付くところに掲げられている。利用者の家族の筆によるとのことであるが、「豊かな生活をおくれるように」との視点から、地域とのかかわりを目指しているが、まだまだ模索中である。	○	昨年も改善点として挙げられていたが、今回も地域の中でという視点を何処に置くのか、再度職員全体で検討されることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、ケア会議などで業務効率化を見るだけでなく、その人を見ていくときの基本として、理念を忘れないようにと常に話している。それに応えるように理念は職員の口からすぐにでてくるほど馴染んだものになっており、介護の現場でも業務に流されそうになるときなどには思い返し実践に役立っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会には入っていない。しかし、年数を経て次第に地域の中でグループホームとしての認識は得てきている。今年は秋祭りを開催し地域の方々の参加を呼びかける予定である。	○	秋祭りなどの呼びかけと同時に、運営推進会議などへの出席依頼も出来るような関係作りに努められることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義については職員もよく理解している。自己評価の取り組みはそれぞれのユニットのリーダーが職員の意見を吸い上げてまとめている。結果についても真摯に受け止め、改善できるところから取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月1回介護相談員の訪問日に、入居者や家族の同席も得て開催している。相談員のうちの一人が寺の住職であり、町社会福祉協議会の理事でもあることから、行政への橋渡し役や地域のまとめ役として種々の問題解決に向けての助言をもらうなど、話し合いの結果をサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町では1箇所だけのグループホームであるため、認定調査の打ち合わせや、その他情報は密にしてやり取りをしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	グループホームあさひ通信「ゆたか」を季刊発行しているが、それ以外に行事案内など随時に発行をして家族には報告を行っている。金銭管理については家族の来訪時に領収書を渡し出納簿に署名をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱は設置しているが、意見が入らないことから家族アンケートを実施し、家族からの意見を収集することにした。その結果、運動会などの行事項目にも意見を反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	前管理者が産休に入ったために、4月から管理者が交代したこと、隣接地の有料老人ホーム開設により職員が少し異動をしたが、利用者へのダメージを防ぐことや、家族への理解を求めることなど十分な配慮は行っている。		
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は資格取得への挑戦に前向きな姿勢であるが、個人的要素が強い。職員全体のレベルアップを図るような計画を立てての取り組みがない。	○	その都度の情報は職員に流されているが、計画的ではない。できれば、個々の職員に応じた育成計画をたてて職員を育てる取り組みを進めていただくことを希望する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入し勉強会があれば参加をしている。町では1箇所のグループホームであるため、他市の同業者との意見交換を図ることが今後の一つの課題ではある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居していただく予定の方には必ず体験入居をしてもらっている。お泊りが無理な場合は、一緒にお茶を飲むなり食事を共にするなど、できるだけ馴染めるような工夫をして受け入れている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であり、会話から人生に対する悟りを学ばせてもらうことが多い。食事づくりなどでは作り方を教えてもらったり味見をもらうなど、お互いの学びあいに支えられている。		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	被害妄想や前向きに物事がとらえられない方、支援困難な方などからの意向は、その方と向き合い、じっくり話を聞くことで次第にスタッフに心を開かれるよう、馴染みの関係を築きながら、意向把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントには家族の意向を聞きシートに書き込んでいる。月2回はかかりつけ医の往診があり、医師による意見も加味して介護計画書を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアカンファレンス会議を月1回開催しているが、一人ひとりについて検討し見直しをしている。会議に欠席の場合はカンファレンス用意見箱の中に自分の意見を書いて入れておくようになっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助、美容院への送迎、墓参り同行など、利用者の希望に応じて特別な外出支援等をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所のかかりつけ医の月2回の往診を受けている。眼科からは月1回、疥癬が生じた時には皮膚科からの往診も受けている。歯科の口腔指導も受けるなど、各科、必要に応じて適切な医療が受けられるように支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にターミナルについて家族と前もって話し合いをして対応についての文書も作成している。医師が判断した時点で決定をすることにしてあり、職員とは必要に応じて話し合っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	2ユニットの中心に事務所があり、書類は一括管理され情報は保護されている。一人ひとりには理念でもある「ゆっくり」を重視しながらプライバシーに気をつけた声かけと対応をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護度に応じたケアを行うので、一人ひとりへの対応は違うが、理念に謳われている様に「ゆっくり」ということを頭におき、その方のペースに合わせた支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常は食材業者からの提供を受けているが、その日の状況に合わせて、野菜をやわらかく煮込んだり食べやすくするなど、調理に工夫をしている。誕生会など、特別なイベントには自分たちで買出しから調理、盛り付けなどを行っている。利用者には味見を協力してもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回を休みとしてその時に外出を支援している。午前、午後ともに入浴はできるが、利用者が順番にこだわる時があると、希望やタイミングを見ながら楽しく入浴できるように支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分から手伝いを申し出る方には、手伝ってもらっている。洗濯物干しや洗濯物たたみなど、その方の力に応じた役割ごととして取り組んでもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭が広いので、庭へ出てひと廻りするだけでも外気浴ができるが、散歩へは毎日出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	帰宅願望が強く少しの隙を見て外出をする利用者が入居されたために、落ち着かれるまでの間、玄関を施錠している。	○	鍵をかけることにより利用者には拘束感が生じ、職員には安心感から見守りがおろそかになる可能性が否定できない。今後は利用者の状況を見ながら、少しずつ開放時間を増やし全開放に向けて取り組んでいただくことが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年1回行われているが、地域の人々との協力関係までは築けていない。	○	夜間の火災や地震の時などの災害対策は、地域の人々の協力が不可欠であり、日常の関係が大切である。運営推進会議の利用などにより、より密接な協力関係を築いていただくことを希望する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは食材業者によるものでカロリー計算などは出来ている。食事の摂取量、水分摂取量などは日々の記録で残している。夜間は室内へのペットボトルの持ち込みやトイレに起きられたときに声かけをしたりするなど水分確保の支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の書いた習字が張ってあったり、季節の花が活けてあるなど、生活感、季節感が失われないように工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の床にはタイルカーペットが敷いてあり、足の触りが柔らかい。汚れてもすぐに取替えができるようになっている。箆箆やテレビの持ち込み、お花が活けてあったり家族の写真があるなど、居心地よく暮らせる工夫をしている。		